令和６年度第１回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

開催日時	令和６年７月２３日（火）午後５時３０分～午後７時７分
開催場所	ハストピア　ギャラリー
記 録 者	今井　由美子
出 席 者	会　　長　関口　茂 副 会 長　山田　正恵 委　　員　塚本　聖子 委　　員　栗原　均 委　　員　飯野　正章 委　　員　福島　進 委　　員　佐藤　淳 委　　員　関根　正昌 委　　員　美濃　昌輝 委　　員　渡辺　弘 事務局　山口　京子　市長 西山　通夫　教育長 小宮　雪晴　生涯学習部長 生涯学習部次長兼文化スポーツ課　課長　小野寺　潤 主査　今井　由美子
	資料の確認 ＞次第 ＞資料１　蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 ＞資料２　蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 ＞資料３　令和５年度稼働率（集計） ＞資料４　令和５年度使用料 ＞資料５　令和５年度ハストピア事業報告 ＞資料６　令和６年度ハストピア事業実施状況 ＞資料７　令和７年度ハストピア事業計画案（運営協議会） ＞別冊　参考資料 ・令和５年度第３回蓮田市総合文化会館運営協議会　議事録（案） 〈当日配布資料〉 ・総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ増築事業について １.開会　小野寺課長 ２.会長あいさつ ３.市長あいさつ 委員自己紹介・事務局自己紹介 ４．議事 (1) 令和５年度事業報告及び事業評価 （事務局）　令和５年度ハストピア事業報告及び事業評価の説明

	（委員）	スタジオ1、2、3の利用状況は非常に高いのですが、これは何か特定要因はあるのですか。
	（事務局）	特定の理由はないですが、毎日ほぼほぼスタジオ2、3は同じ方というわけではないですが、ご利用は個人で、あとはサークルでご利用が多い感じです。
	（委員）	個人の方もということですか。
	（事務局）	毎日とは言わないですが、週に2、3回は同じ顔ぶれの方がいらっしゃってますので稼働率はそういう点ではよろしいと思います。
	（委員）	さきほど稼働率ということで、例えば、スタジオ3であれば件数が1,061件で、稼働率が99.7%、稼働率はどうやって求められているのですか。
	（事務局）	1回の申し込みを1件と考えて、ホールの場合は午前、午後、夜間と3区分ありまして、1つの区分を利用しただけでも1と考えて、それを稼働日で割った形で出しております。
	（委員）	3回ぐらいに分けられて、すごく埋まっていて、99.7%ということで、実際使われた人数が1,476人ということは大体お1人の方が多い、それぐらいの広さのスタジオですか。
	（事務局）	後で、ハストピアの方の部屋ごとの収容人数をお渡しをさせていただきたいと思います。今、私どもが居りますのがギャラリーというところですが、スタジオ2と3につきましては、大体バンドを組んでらっしゃる方が1グループとか、そういったような形ですので入っていただいても5名程度ぐらいになると思います。手元に資料がないので申し上げられないのですが、スタジオごとに広さが決まっておりまして収容人員が全く違ってまいりますのでそれぞれの部屋ごとに定員というのが決まっております。
	（委員）	お願いですが、会議が終わった後、入ったことがないお部屋を拝見させていただくことはできますか。楽屋1、2、3は特に防音設備がなく使えるお部屋ですか。
	（事務局）	楽屋につきましてはホールの附帯設備としてホールで演技をされる方がお控えになる部屋ですので、特に防音にはなっていません。スタジオ1と2と3につきましては、1はかなり大きなお部屋で、昼間は特に、高齢の方がヨガマットをひいて体操されたりとか、もしくは、開けるとガラス張り鏡張りになるところがありますので、バレエの方が使っていただくことも利用可能なお部屋です。そちらには防音設備がついております。また、スタジオ2と3については、電子ピアノが置いてあるのと、バンドのセット、ドラムが置いてありますので、そちらは防音設備が整っておりまして外の方には聞こえないような形になっています。もしよろしければ帰りがけに一通り空いていればご案内させていただきます。
	（会長）	なかなか評価すると言っても、実際の運営の方を評価するのは難しいところではありますが、評価しなければいけないのでこれは聞いておかないといけないということがありましたらお願いします。
	（会長）	今年、この中に出てくる「黒浜沼の河童」に、出演させていただきました。何回目でしたか、5回目ですか。
	（市長）	そうです。一番最初は彩の国芸術劇場の小ホールでやらせていただいて、その次の年に上尾の文化会館でやって、ここ文化会館の開館記念にやって、そこから昨年、令和5年度に久しぶりにハストピアサポーターズの企画でやりました。
	（会長）	とてもいい財産です。蓮田にとって芸術って難しい、動きがないで

	すが、演奏する人、語りが加わって、合唱団と照明とＮＨＫの有名な人が作った影絵で情景を映しだしてくれるなかなかいい作品だと思っています。 他になければ、評価してもらってよいですか。事務局が評価したのが「Ｂ」となっておりますが、皆さんどうでしょうか。 それでは評価は、「Ｂ」でお願いします。 (2) 令和６年度事業実施状況 （事務局）　令和６年度事業実施状況の説明 （会長）　ピアノの調律はどうしていますか。出したり入れたりするとやはり振動したりしませんか。 （事務局）　今日、ホールの前でストリートピアノをやっているのですが、スタジオ１にあるグランドピアノを出してます。定期調律ということで、おおよそ２か月に１度、調律をやっています。スタインウェイの方が３か月に１度、ストリートピアノをやっています。ホールになりますがこちらは無料でやっているのですが、調律は各月に自主事業のコンサートがあったりなかったりで、それに伴ってコンサートの調律を、定期調律は今のところ今年度１回だけです。それがコンサートがあるとコンサート調律でやっていただいてますので、実際には自主事業の支出の中にピアノの調律を含めてお支払いしている場合もございますし、別途こちらで払っている場合もあります。 （会長）　ストリートピアノの置いてある環境と、部屋の環境と少し様子が違うので何か影響が出ないでしょうか。 （事務局）　ホールのスタインウェイのピアノはピアノ庫があるので、湿度とかピアノに対する条件はちゃんと整っているのですが、スタジオ１に関しましては除湿器をその時期に置いたり、加湿器をまた逆にはその時期置いたりしてやっておりますが、どうしても調律師さんから言わせると狂ったりすることの多いとお話はいただいております。 （会長）　加羽沢さんはNHKのラジオに出ていた方ですか。 （事務局）　以前、「らららクラシック」という番組に出ていた方です。高島ちさ子さんていうバイオリンの方とコンサートを一緒にやられているとか、ご自身だけでもピアノのコンサートをやられているのですが、今回は石田さんという方をお呼びしてバイオリンとピアノのコンサートを企画しております。 （事務局）　表からもれてしまったのですが、来年の3月20日に東京混声合唱団ハストピア公演をまた企画させていただいております。申し訳ございませんでした。 （会長）　3回目になります。東混の、また、我々の方に一緒にやらないかと声をかけてもらったりして大変うれしい企画です。また、伊奈学園が1月18日、予算が書いてないですが、ほとんど予算がないという言うと先生は指揮者で出張です、学校の先生なので、出演料とかはないので、謝礼ということで書いてありますが、生徒を送り迎えする費用、お昼とかそういう程度のものでほとんど支払いはありません。なぜこれを手配したかというと、田んぼを超えたすぐそこに全国に出ている伊奈学園があるのに、その音楽を聴くことができないのはこれはとても残念、惜しいと思って企画した次第です。 （委員）　伊奈学園は県の高校生ですし、出演料はいらないわけですが入場数は決まってますからどういうふうに募集するのですか。当日市内外

	から結構来ると思いますが。 （会長）　それが心配です。方法を考えることになると思います。定員は決まってますから、何か募集の際に策をと個人的には思います。 （事務局）　そちらにつきましてはまだ席の方をどのようにするかというのは詳細決めておりませんので改めまして、事務局のほうでよくよく考えさせていただきましてなるべく市民の方々に聴いていただけるような何か配慮は考えたいと思っております。 （委員）　おそらく吹奏楽部の保護者の方もお見えになるかと思います。もしかしたらやはりこのハストピアのＰＲにもなるかと思うので、キッチンカーとか、この建物の周りで食事ができたり、ちょっとゆっくりできたり、外にベンチとか、パラソルとかありますが何か工夫できることを考えていただいて、気持ちよく帰っていただくというような配慮があるといいのかと感じます。 （事務局）　保護者の方等いらっしゃるということですので、通常のコンサートではご招待席を若干数設けております。また、学校さんと調整しまして席の方で、例えば最低限このぐらいの席は確保してほしいとかそういったご相談があればお受けをしたいと思いますし、キッチンカーも毎回事業がある度に最低でも１つは来ていただいて事業ごとに活躍をいただいておりますので、これから考えていきます。 （委員）　5 年度もそうだったのですが、6 年度も子どもたちを対象にした事業を皆さんからご意見をいただいて組んでいただいています。爆発的に人数がたくさん来るということではないですが、大変よい反響があったというふうに思います。サポーターズで全てコンサートをお手伝いしていますが、親子連れで、あるいはおじいさんおばあさんと一緒に楽しんでいただいて帰る時の様子でやってよかった、来ていただいてよかったというのをサポーターズは実感しております。子どもたち向けの事業は今後の大事な柱にしていたけたらいいと考えております。それから、サポーターズのフェスティバルについては、今、何をするのかということで企画を練って今年は実行委員会形式で一日でやりましょうというところでございます。チラシ等も作って是非皆様にも来ていただいて様子を見ていただけたらと思っております。 （事務局）　今ご提案いただきましたお子様向けについては今後この後議題にもかかってくるところだと思いますので、その中で委員の皆様から色々とご提案いただいたものを参考にさせていただきながら引き続きお子様の事業についても踏み込んでいきたいと考えております。お時間もございますので次年度以降またご意見等いただければ大変ありがたいです。 (3) 令和 7 年度事業計画（案） （事務局）　令和 7 年度事業計画（案）の説明 （委員）　私が考えたのが１つですが、これをメインにということではないです。サブ的なものですが、蓮田に限らず少子化、少子高齢化傾向というのはどこも抱えている課題だと思うのですが、埼玉県をながめていてこれより子育て世代へのどんな補助、どういったところを厚くするみたいなところというのはどこもやっているのですが、、子育てや教育に力を注いでいくというのは避けては通れないと思います。そういう中で、何か特色を出せないかと考えるとこれも実は他

		市では色々出てきてはいるのですが、小さい子供を思う親はこれからはグローバルの世界の中で英語は身につけなければというところは結構多いと思います。その中でキッズ英語といいますか、キッズイングリッシュそういうところで蓮田は子供の世代から英語を熱心に教育してくれて町全体で子供に、しゃべれる英語を身につけてもらえるようにするというようなイメージを打ち出したりするのはどうかと思いました。その場として、もちろん小学、中学の教育に取り込むというのがまず大前提でしょうが、加えてここの場所を使いまずホールで年間何回か子供たちを集めた、全部わからなくてもいいから英語の子ども向けミュージカルをやったり、英語に親しんでもらうイベントを大ホールでやって、こういった中規模の部屋でもう少し年間の回数を増やして英語に親しむ、親しんでもらうものをやり、さらに空いている創作室を使ってやると、ホールで英語の子ども関係で年間何回、次、中規模でもっと増やした回数で何回、さらに他の部屋でさらに増やした回数で何回みたいな感じで、全て子どものための英語づくしみたいなことをやっていき、蓮田はこういうものという特色付けるのも１つあると思いました。具体的に大ホールで誰それを連れてきてこういうのをやろうというところまではまだノープランですが、市の方針とあっているかどうかわかりませんが、やはりこれから人口減少を迎える中でどうやって蓮田市を特色づけていくか、この若い親が蓮田っていうところをこれから終の棲家として住み子供と一緒に生きていこうと思ってもらえるかというところを考えると、１つや２つそういう特色が必要なのかというふうに思いました。
	（教育長）	とてもいい意見だと聴いておりました。1 つは今、凍結状態に入っているオーストラリアとの国際交流、これを模索しています。3 年くらいかかると思っていますがこれがうまくできればもっといろんなコミュニケーション力を高める活動ができるだろうと見守っております。受け入れ先のほうが、ホームスティでやりたいのですが、その調整をどうするかと今業者を入れて、相手先とのコンタクトを取りながら調整しています。そういう意味では今、委員がおっしゃったのも１つの方法と思います。 もう１つは、市の方向性として英語検定、英語検定に限らないですがそういうシステムみたいな何かを導入できないかと考えています。根本は ALT の稼働率、ALT をもっと授業で積極的に活用しなくてはいけないというふうに思います。その部分が不足しています。そういうことを考えながらそういったイベントを同時進行でやるのはとてもいいと思います。
	（市長）	今の話はとても特徴的で、やはり人を作らなくてはいけないと思います。そういった意味ではディズニー英語を親が買って見せています、赤ちゃんから。例えばミュージカルとかそういうものができるかどうか難しいのですが、その前講座として、今年やった「０才からのクラシック」も最初は全然チケットが売れなくてどうなるのかと思ってふたを開けたら、いっぱいでした。０才から連れてきて、兄弟もいますが子供達と大人も楽しめるというところできっと皆さんチケットを買って下さったと思います。もちろん子供ですからどこかいったりしますし、みんな抜けていったりもするのですが、それでもそういうのに飢えていると、委員の話を聞いて思います。０才からの英語講座、英語でしゃべろうでも英語で歌おうでもいい、

		音楽とそれから英語とちょっとダンスみたいな時間を設けるのは文化会館に即していると思います。
	（委員）	私は鑑賞を書いたのですが、蓮田の駅を降りて西口は塾が多い、東口はダンス教室、バレエ教室が 3 つぐらいあります。蓮田の駅を降りるとおだんごを結んでいる子どもたちが結構いますので、バレエ教室と何かコラボをやったらおもしろいのではないか、先ほど委員さんが言ったミュージカルをやって、踊ったり歌ったりやったらどうかと思います。
	（事務局）	今回の運営協議会をやるにあたりまして、事前に委員の皆様からもご提案をいただいているところでございます。なかなか私どもでも知恵がなくて、今日せっかく著名な委員さん、また、地元に色々お力添えをいただいている委員さんもおりますのでぜひ 1 つずつくらい何か私どもの方にご提案をいただけると助かります。皆様であたためている何かこういうのがあるというのがあれば浅く広くご意見を出していただきまして参考にさせていただければと思います。
	（委員）	事務局から聞いて考えました。10 月 2 日に運営協議会があって 10 月 12 日に事務局と面談をさせていただきました。私のテーマはホールではなく諸室の使い方です。夜間ハストピアはライトアップするのですごくキレイで、幻想的です。夜間、諸室をどういうふうに使うかというお話をさせていただいて今準備をしているところです。1 つは先ほど子育て世代とワードがでてきましたが、子育て予備軍世代、もっと若い 20 代前半、30 代前半ぐらいまでをターゲットにした催しを蓮田は何かあるかと考えたときに、夜間ハストピアに来れば何かやっているという形に結び付けるのはどうかと考えております。市民大学とか、市民講座、あるいは教育委員会でやっている「学びませんか」、というのが地元の人が講師になって地元の人が教えていくというスタイルをずっとやってきていいと思うのですが、どうしても日中の時間に限定されると、参加する方もいわゆる子育て卒業世代の方がターゲットになってしまう、20 代とか 30 代、あるいは 40 代で子育てをこれからしようかどうしようか、あるいはその時期を逃してしまうのではないかと不安な方もここに来ると明かりがついていて誰かがいて誰かが何かをやっている、例えば講座をできないかと、あとは、来る 10 周年、2027 年に迎えるであろう 10 周年までに最低 3 回行うと、実績がないと文科省の後援、文化庁の後援とかいただけないということもあるので、そういうものがいただけるようなシステムづくりをやってみたいと思って 10 月から一昨日ぐらいまでかなりつめております。まだ、完成が遠いのでなかなか発表できないでいます。市民大学の夜間大学みたいな形で平日の午後 7 時から 9 時までの時間、2 時間、やっていて明かりがある、人がいる、何かフリーで入れるというようなことをシステム的に作って運用していくと、稼働率あるいは集客率、変わってくるのかというところです。何かスポットを作ってやってみたいというふうなことで仲間たちと今考えているところです。ただし、事務局にそれを言うと私も痛感しているのですが、言いぱなしになってしまうと、どうしても事務局の負担になってしまうので、そうではなくて自分たちが旗をふって手を挙げてＧＯをかけるというところぐらいまでやれたらいいと思って、準備に時間がかかっているところです。予算、人、モノ、金全部考えながら総合的に判断して動いていかなくてはならないですが、夜間と諸室というのは 1 つテーマとして私は

	思っていますので、何かご意見あったら委員さんとの意見交換もできればいいと思っています。 （委員）　まず１つが近藤良平さん、「昔ばなしのダンス」でせっかくつながっているので、近藤さんと相談されて、ダンスのワークショップをして、それを何回かやれたら発表できるように、やってもらえたらいいと思います。 先ほど聞いていて市内バレエ教室とおっしゃったのですが、発表会はどこでやられているのですか。 （委員）　やっていないです。やさいきまつりとか、蓮田のイベントに出てくるのは公民館レベルでは出てくるのですけど、基本的にはバレエ教室は有料ですからそれを発表する場所がないんです。 （市長）　バレエは違うのです、こういうところでは、しっかりと作り込んだとても広いところでしかバレエの先生してくれない。ここだと簡易なバレエの発表会になってしまうので、バレエの先生たちはもっと大きな劇場でないとできませんとはっきりおっしゃられてます。 （委員）　さいたまの音楽担当の方から、小さいオルガンを持っていて、それを庭で毎月やっているんですけど、そこにオルガンを弾く人と、オペラ歌手とか楽器の人を呼んで、「プロムナードコンサート」をやっているのですが、オルガンを運ぶのがちょっと大変ですが、ホールにオルガンを置いてやるとすごく響くのでいいと言っています。そこにオペラ歌手を呼んで、入場料はご相談だと思うのですが、もしよかったら聴きに来てもらえればと思います。これは音楽、クラッシックです。また、落語は続けたらいいのではないですか。ジャズは数字を見たら、去年より今年は人数は減ったのですか。 （事務局）　ジャズについては初回本当にお試しということで、一人 100 円ワンコインだったんのですが、ある程度お客が来るということがわかったので、1000 円にしてみたら少し減ってしまったというのが現状です。高望みをしすぎまして、1000 円になったら減ってしまいました。継続したいとは思っていますのでもう少し安く来やすくしたいと思っています。 （委員）　500 円ですか。時期もやはり同じにした方がいいという気がするのですが、10 月なら 10 月で。今、「銭天堂」が子供たちにものすごくはやっています。駄菓子屋の話、ひとみ座さんがやっていますが全国どこでも満員です。これはもう圧倒的な人気でいくつか手があって、ひとみ座さんは安くてすぐ来てくれると思いますが、銭天堂をやると、駄菓子屋が開けるのです。それに合わせて、駄菓子は安いので、お祭りみたいな感じで子どもたちはすごいです。銭天堂に関してはどこでやってもすごいです。来年、神奈川芸術劇場がリーディングをやります。白石加代子さんがそのおばあさん役で、もう一人、大原櫻子さんと 2 人でリーディングをやるそうです。ご紹介することはできます。銭天堂はいいと思います。ひとみ座さんを呼んでプラスアルファでコラボしたらどうかと思います。 （委員）　委員の夜景がきれいだというのを聞いて思い出したのですが、ここはロケで貸館みたいなことはやってはいけないのですか。我が社の中でもコマーシャルとかにワンフロア貸し出してコマーシャル撮影をやっています。空いている時間が中途半端でないかもしれませんが 1 日貸し出して多分何十万という、売り上げになります。コマーシャルに使ったり、ドラマの撮影に使ったりということで、会社の事務所は意外と乱雑ですが、そういうのがいいんだというのもある

	ので、ハストピアみたいにきれいすぎると逆にどうなのかわかりませんが、またそれは別のニーズがあるのかもしれません。いくつかそういう場面場面の場所場所の写真で PR 宣材を作ってしかるべきところに出しておくと向こうから寄ってきます。当たり前ですが社外秘のこともありますし、会社の中では反対意見もたくさんありました。最初貸し出すときに、立ち合い係を 2 人 3 人置いて、ここからむこうは勘弁くださいみたいな話をしながら撮影してもらいました。 （委員）　利用率を上げるのは市民の人に使ってもらうというのもありますが、これを維持するのにもお金がかかるわけですから、やはりいくらかでも手助けになればと思います。 （委員）　社内で動画と一緒に我が社が撮影場所に使われたコマーシャルが放送開始されましたと社員に流すと社員は喜ぶでしょう。だから、市民も喜ぶと思うのです。ハストピアを舞台にしたこういうのがこういう風に使われましたと。 （委員）　貴重なご意見ありがとうございます。実は前にも少しお話ししたかもしれないのですが、今年の 4 月 1 日から、ネットフリックスの映画撮影が 1 つ入ってもう終わっております。新幹線大爆破という高倉健さんが主演の映画をリメイクしたもので、宇津井健さん、丹波哲郎さんその当時の有名な方々が出ていたものを蓮田市総合市民体育館裏の広場の方で 2 日間かけて撮影しました。その控え室としてハストピアを全部開放してかなりいいお値段をいただいております。また、今年の 9 月に田部井淳子さんを題材にした映画撮影でハストピアのホールを使うことが決まっております。これからも引き続きアンテナを高くしつつ委員のご意見もうかがいながら進めてまいりたいと思います。 （会長）　時間も時間なので、いろいろ検討していただくということで、お願いします。 （2）運営主体の検討について （会長）　運営主体の検討について何かご意見がありましたらお願いします。 当日配布資料の説明 （事務局）総合市民体育館大規模改修とサブアリーナ増築事業の説明 ６．閉会　山田副会長